

製品名: UBB マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81085**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	UBB
別名	UBC; UBA52; RPS27A
遺伝子 ID	7314.0
SwissProt ID	P0CG47
免疫原	大腸菌で発現したヒト UBB の精製された組み換え断片。

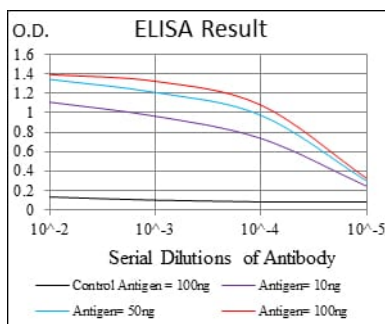
背景

この遺伝子は、最も保存性の高いタンパク質として知られるユビキチンをコードしています。ユビキチンは、異常タンパク質および正常タンパク質の ATP 依存性、非リソソーム性細胞内タンパク質分解に必須であり、その分解は急速に進行します。ユビキチンは分

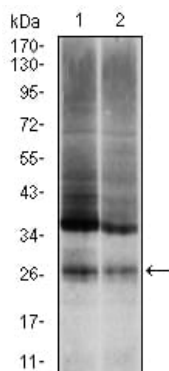
解対象のタンパク質に共有結合し、おそらくはこれらのタンパク質を分解対象として標識する役割を果たしています。ユビキチンは、活発に転写されている領域ではヒストン H2A にも結合しますが、ヒストン H2A の分解は引き起こさないことから、ユビキチンは遺伝子発現の調節にも関与していると考えられます。この遺伝子は、スペーサー配列のないユビキチンコード配列の 3 つの直接的な繰り返し配列で構成されています。その結果、タンパク質は、最後の繰り返し配列の後にアミノ酸が 1 つ付加されたポリユビキチン前駆体として発現されます。このタンパク質の異常型は、アルツハイマー病およびダウン症候群の患者で確認されています。

研究分野

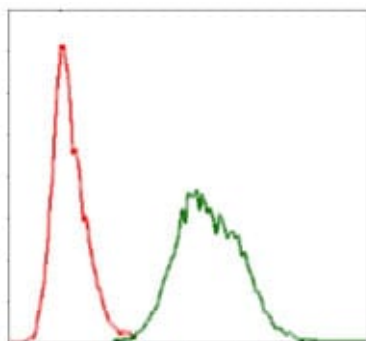
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



NIH/3T3 (1) および Hela (2) 細胞溶解物に対する UBB マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



UBB マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。